

このたび兵庫教育大学初の広報誌『教育子午線』が誕生しました。創刊の経緯や目的、日本の教育系大学が今日抱える問題に対する兵庫教育大学の取り組みなどについて、大学院生の堀田宗敬さんと学部生の飯田ルミさんが中洌正堯学長に話をうかがいました。

大学初の広報誌を 発刊する意義とは

堀田 「教育子午線」創刊の目的から教えてください。

中洌 兵庫教育大学は「恵まれた教育的環境にある開かれた大学」を掲げ、1978年に開学しました。この「開かれた」という言葉には、地域の人も学内に自由に出入りできるとか、これまでの考えにとらわれない自由な発想を持つとか、さまざまな意味が込められています。しかし、これまでの歩みを振り返ると「開かれた」と言いながら、大学の姿勢は来る人を待つ「受け入れ型」でした。21世紀は、大学側から地域、全国へ発信する「働きかけ型」でなければいけません。その役割の一端を担うのが、この『教育子午線』です。

飯田 どのような記事を載せ、読者に何を伝えたいのですか。
中洌 今、大学で取り組んで



創刊記念インタビュー

中洌正堯学長に聞く

memoration Interview

いる研究内容や、授業のシステムを分かりやすく紹介していくつもりです。例えば、受験を控えている人が読めば「この大学を受けてみようか」と思うようなもの、教育機関の人なら「この教授を講師に招いて話を聞いてみたい」と考えられるようなものにしたいです。公開講座への参加も呼び掛けたいですね。また現在、教育現場で活躍する卒業生、修了生を結ぶ役目も果たしたいですね。現場が抱える問題について、兵庫教育大学がどのような対策を練っているかなども掲載できればと考えています。

教育実践学を 発展させるために

飯田 兵庫教育大

学が取り組んでいる教育、研究の中で、特にどの分野が全国のトップレベルにあるとお考えですか。

中洌 兵庫教育大学が開学した目的の一つであり、その後の博士課程の設置目的であるのが、教育理論と実践とを結び付ける「教育実践学」の

開拓です。日本ではこの分野の研究はまだ十分とは言えません。日本で確立していない学問の研究に挑んでいるのですから、「教育実践学」については全国でナンバーワンです（笑）。現在、トップレベルで活躍している分野の具体的な紹介していきます。楽しみにしてください。

堀田 大学院生には多くの現職教員がいます。私なども大学院で学んだことを教育現場に持ち帰って、

自分の理想とする実践学をつくりあげていきたい

と考えています。しかし、それではあくまでも個人だけのものになってしま



インタビュー

Iida Rumi 飯田ルミ

学校教育学部言語系専修コース4年。兵庫教育大学の附属小学校、中学校を卒業。研究テーマは「対話能力を育てる「話し合い」」

21世紀の教育への旅立ち

兵庫教育大学の果たすべき役割とは

う気がするのですが。

中洲 確かに、他者の考えと比較できる機会、学会や研究会をもっと活発に行う必要はあります。全国各地の実践の中で、良いものはすべての教員が共通の財産として吸収できるようにしなければ。そのためにも卒業生、修了生を結ぶネットワークが大事です。兵庫教育大学の内部でも、博士課程が達成した研究成果を修士課程、学部還元するという形をつくっていききたいですね。

時代に即した対応が常に求められる

堀田 現在、大学の再編統合問題が取りざたされています。兵庫教育大学も学内で抱える問題、そして教員養成大学として取り組むべき課題があると思うのですが。

中洲 実際、教育系大学にも再編統合の声は上がっています。この問題は大学の根幹を揺るがすものです。ただ、私は学内外の今日の問題は本をただせば同じだと考えています。



インタビュアー

堀田宗敬 Hotta Munehiro

大学院修士課程言語系コース2年。兵庫教育大学を卒業し現場教師を2年間務めた後、大学院に入学。研究テーマは『小学校国語科における文学教材の学習指導―「演劇性の導入」―』

と、児童に指導はできません。自主研究の授業は賛成です。

必要不可欠な

教員と地域の交流

堀田 これからの教員には何が求められるのでしょうか。

中洲 いい意味で二足の鞋を履くことだと思います。

自分の専門分野のことにしか考えないというのではなく、他教科や教職関係のことも広く理解する必要があると思います。また、学校内の仕事はこなせても、家庭や地域とかかわりを持っていないのは困ります。学校教育は、家庭や地域との結び付きがなければ成り立たないものですから。



飯田 『教育子午線』には、大学と地域が双方向に発信し合うつながりを期待したいですね。最後に読者の方へのメッセージをお願いします。

中洲 読者にとって有意義な情報を発信していきたいですね。そのためにも、読者のみなさんには感想や希望を大学へ寄せていただきたい。その声を誌面に反映させ、より親しみのある広報誌に育てていきたいと考えています。

兵庫教育大学学長

中洲正堯 Nakasu Masataka

1938年福岡県生まれ。広島大学大学院教育学研究科教科教育学専攻(博士課程)単位取得退学。87年、兵庫教育大学学校教育学部教授に。以降、兵庫教育大学学校教育研究センター長、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科長を経て、2000年12月に兵庫教育大学学長に就任。専門分野は国語教育学

兵庫教育大学とは

高度な研究・指導能力を持った人材を輩出 発展し続ける教員のための大学

兵庫教育大学は、現職教員のさらなる資質向上、新たな初等教育教員の育成を目的に1978(昭和53)年に創設されました。

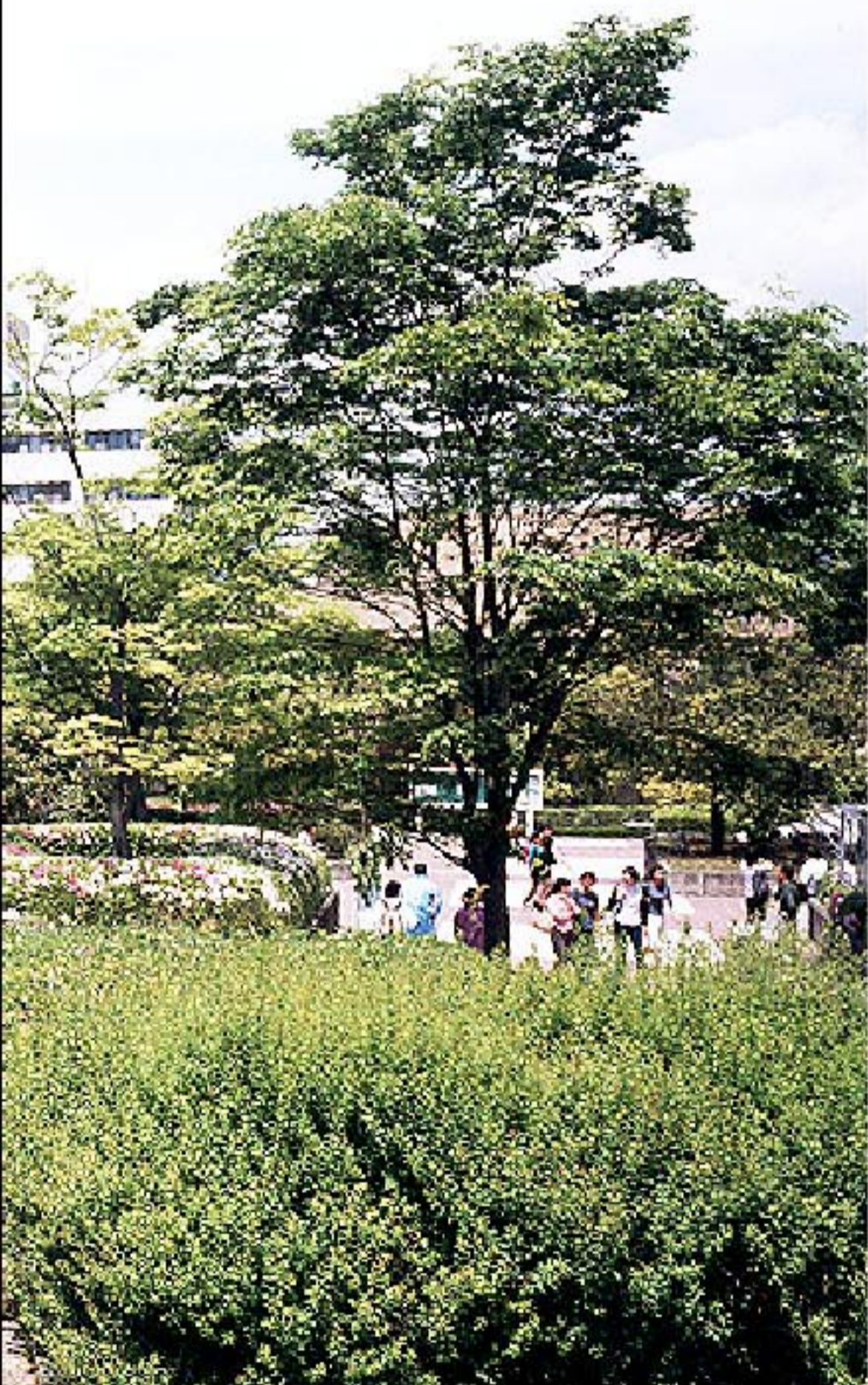
兵庫県の南部、播磨平野のほぼ中央に位置する社町にあり、大学のすぐそばを東経135度の子午線が通過しています。40万平方メートルの緑に包まれた広大なキャンパスでは、1300人余りの学部生、大学院生が充実した学生生活を送っています。

兵庫教育大学には現職の

教員を全国から数多く受け入れる「大学院修士課程」、幼稚園・小学校の教員養成を中心とする「学校教育学部」があります。さらに96(平成8)

年からは、教員を養成する大学では全国初の「博士課程」も加わり、学部から大学院まで一貫した教育研究環境が整いました。

また、地域の教育機関との連携や施設の一般開放など、大学内の人的、物的資源を活用して、社会貢献にも取り組んでいます。



Profile



神事舞



兵庫教育大学史

1978(昭和53)

- 兵庫教育大学開学
- 学校教育学部初等教育教員養成課程を設置(昭和57年度から学生を受け入れ)
- 附属図書館を設置

1980(昭和55)

- 大学院学校教育研究科を設置(学校教育専攻、幼児教育専攻、教科・領域教育専攻)
- 学校教育研究センター、学校教育学部附属小学校、附属幼稚園を設置

1981(昭和56)

- 学校教育学部附属中学校を設置(昭和57年度から生徒を受け入れ)

- 大学院学校教育研究科に教科・領域教育専攻の自然系コースを増設

1982(昭和57)

- 学校教育学部附属実技教育研究指導センター、保健管理センターを設置

- 大学院学校教育研究科に障害児教育専攻と、教科・領域教育専攻の芸術系コース、生活・健康系コ

DATA

兵庫教育大学 (平成13年10月1日現在。ただし☆は平成12年度実績)
 学生数等●学部768人、大学院(修士)561人、大学院(博士)82人、研究生44人、科目等履修生22人、特別聴講学生10人、附属小学校524人、附属中学校330人、附属幼稚園154人
 教職員数●大学教員180人、附属学校教員49人、事務局職員110人
 図書●蔵書数299,488冊
 国際交流●外国人留学生56人、外国人研究員等2人、交流協定大学7校
 財政☆●歳入905,757千円、歳出4,267,070千円(科学研究費補助金52,631千円(33件)、奨学寄附金13,841千円(20件)、受託研究1,845千円(3件))
 土地・建物●土地面積490,865㎡、建物等延面積89,414㎡
 学生寄宿舎等定員●単身用560人、世帯用120世帯、国際交流会館40室



八角形のフレームを兵庫の「兵」の形に切り抜き、その中に古書体の「教大」を配置している。



Campus



朝光寺

◎社町 Yashiro Town

兵庫教育大学のある社町は、722(養老6)年に創建された佐保神社の門前町として発展してきました。本堂が国宝に指定されている朝光寺をはじめ、中世以来の神事舞(国指定重要無形民俗文化財)を伝える住吉神社、西国25番札所の清水寺など多くの文化財が残っています。源平古戦場で知られる三草山もあり、いにしへの薫りが漂う町です。

- 1984(昭和59)
 - 米国・ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部と友好協力協定を締結
- 1990(平成2)
 - 学校教育学部附属障害児教育実践センターを設置
- 1991(平成3)
 - 米国・ウィスコンシン大学オークレア校教育学部と学術交流協定を締結
- 1994(平成6)
 - 韓国・ソウル教育大学校、大邱教育大学校と学術交流協定を締結
- 1996(平成8)
 - 情報処理センターを設置
- 1999(平成11)
 - 大学院連合学校教育学研究科を設置(学校教育実践学専攻、教科教育実践学専攻)
- 2000(平成12)
 - ニュージールランド・ワイカト大学と学術交流協定を締結
 - 大学院学校教育研究科の幼児教育専攻を学校教育専攻の幼児教育コースに名称変更、学校教育専攻に教育臨床コース、教科・領域教育専攻に総合学習系コースを増設し3専攻・12コースに改組
 - 学校教育学部(初等教育教員養成課程)を2専修・9コースに改組
 - 大学院神戸サテライトを設置

現職教員のさらなる資質向上を

現場で生きる専門知識を習得

ズームアップ1

大学院紹介

大学院には学校教育研究科（修士課程）と連合学校教育学（修士課程）と連合学校教育学（後期3年のみの博士課程）の2つの課程があります。修士課程は主に初、中等教育の実践にかかわる学問を総合的かつ専門的に研究しています。入学定員の3分の2を3年以上の教職経験者に充当。教育現場での体験を踏まえ、教育者としてさらなるスキルアップが図れるようになって

います。一方、博士課程では、教育活動や教科の教育に関するより実践的な研究を行っています。高度な研究、指導能力を持った人材（大学教員など）の育成をめざし、兵庫教育大学と上越教育大学、岡山大学、鳴門教育大学の4大学が連携して教育、研究組織を編成しています。時代とともに多様化する学校教育に対応できる人材を養成します。

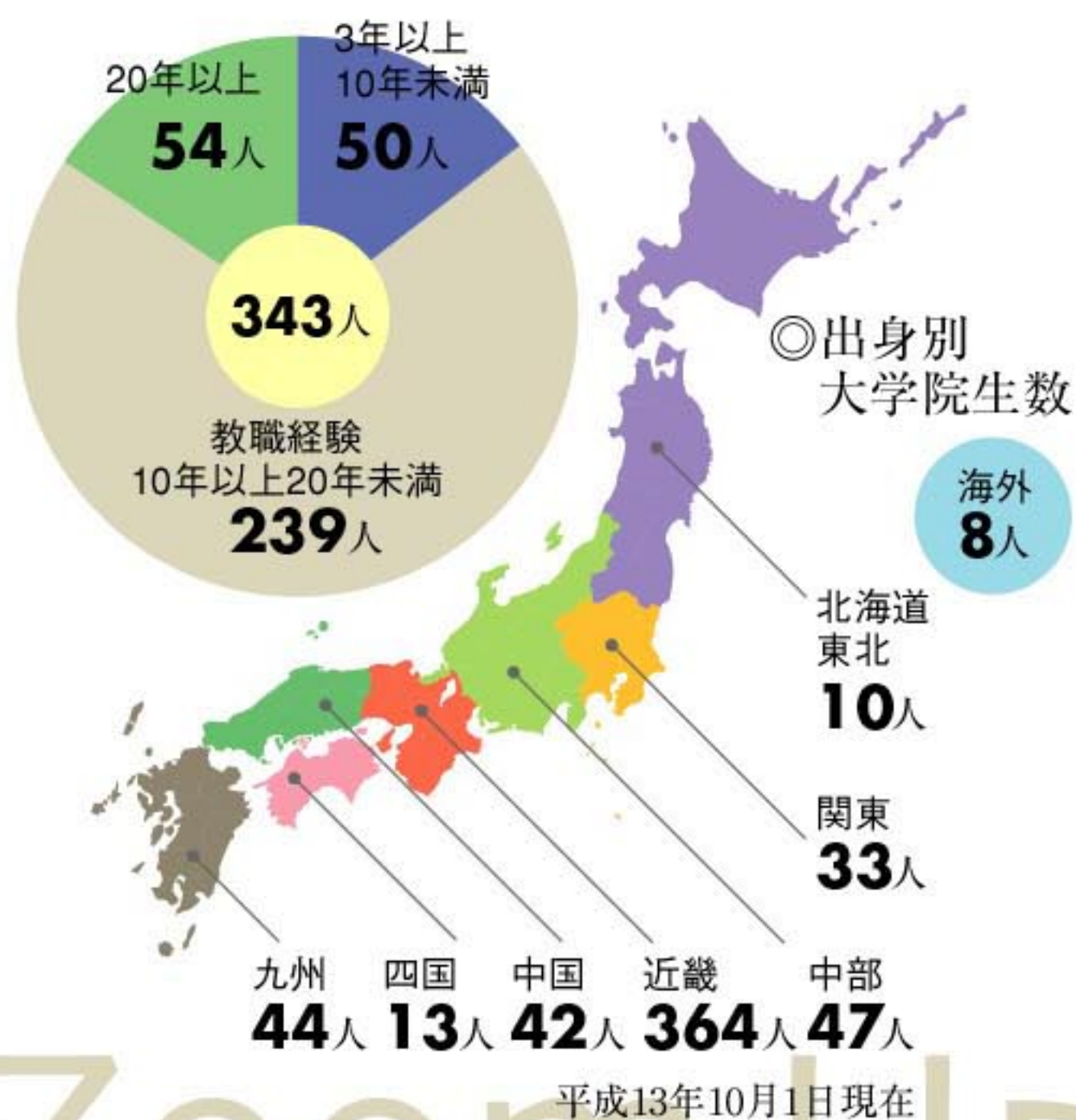
◎大学院専攻・コース一覧

修士課程	学校教育研究科
	学校教育専攻
	教育基礎コース
	教育経営コース
	教育方法コース
	生徒指導コース
	幼年教育コース
	教育臨床コース
	障害児教育専攻
	教科・領域教育専攻
	言語系コース
	社会系コース
	自然系コース
	芸術系コース
生活・健康系コース	
総合学習系コース	
博士課程	連合学校教育学研究科 <small>構成大学／上越教育大学、兵庫教育大学、岡山大学、鳴門教育大学</small>
	学校教育実践学専攻 教科教育実践学専攻



◎修士課程在学者のうち現職教員数

343人 / 561人 = 61%



◎大学院神戸サテライト

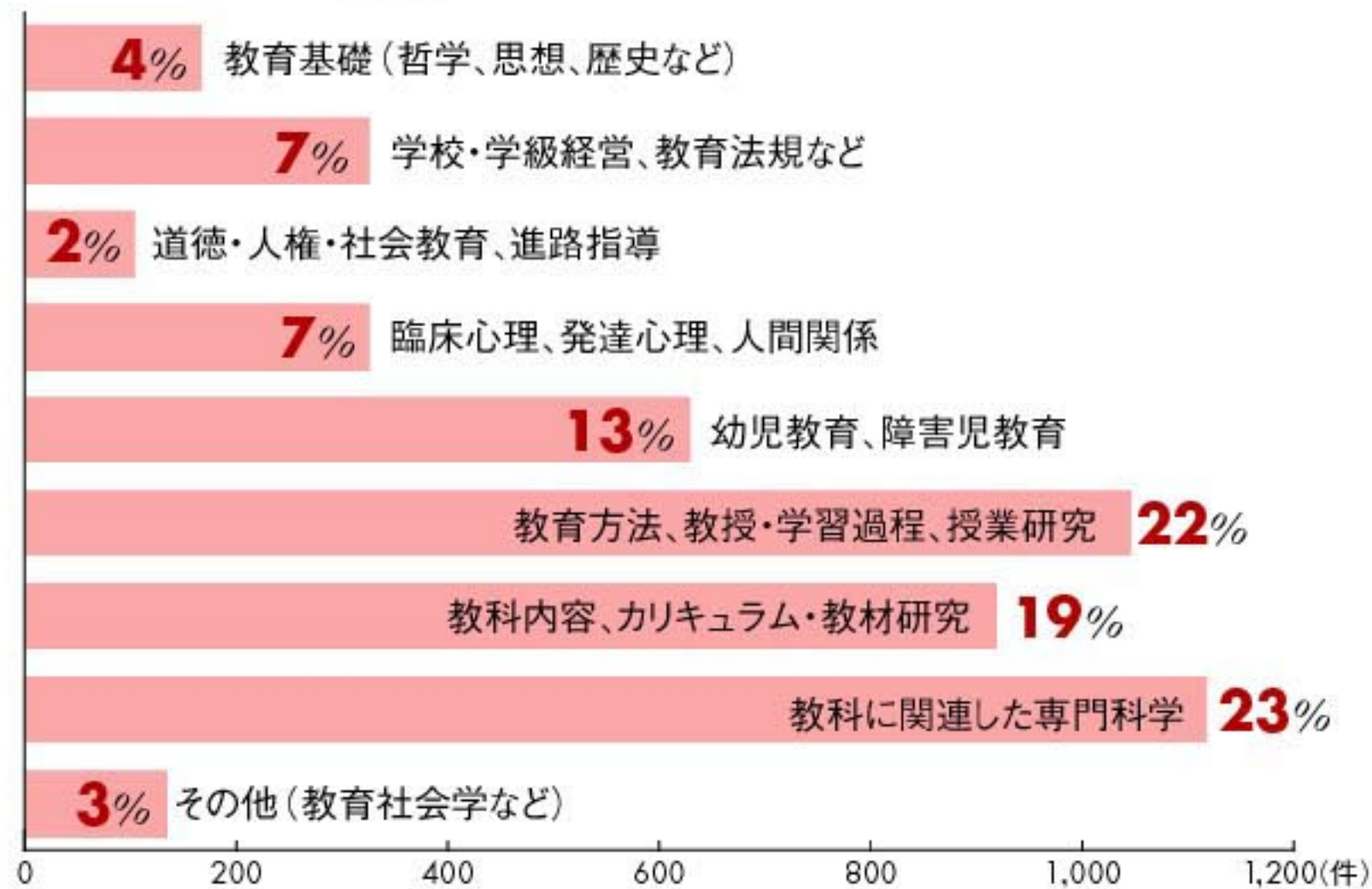


修士課程の教育臨床コースと総合学習系コースの夜間クラス生の学舎として、平成12年度に神戸市中央区に開設。パソコン、視聴覚機器を完備した講義室や演習室が入っています。

Graduate School

修士論文から見る大学院の特徴

◎修了者数: **4,839**人 平成13年9月30日現在



修士論文の内容を分析したデータからは、「現職教員のための大学院」という兵庫教育大学大学院の特徴が明確に浮かび上がってきます。
教授・学習過程や授業研究、さらにカリキュラム開発研究、教材研究など「教育の方法」に関する研究が全体の半数近くを占めています。これは、大学院生自らが教育現場で見つけた課題を論文のテーマにし、その解明に挑んだことを物語っています。



◎博士課程修了者進路状況
平成13年10月1日現在



※学位授与数
博士(学校教育学)課程修了………28人
博士(学術)課程修了………7人
博士(学校教育学)論文提出………4人

Doctoral course

研究の幅を広げる連合大学院制度



平成11年度博士課程
学校教育実践学専攻
学校教育方法連合講座入学
松島るみ

「自己開示」に関する研究をしたくて、博士課程に進みました。大変熱心に指導して下さる先生方や真摯な姿勢で学ぶ仲間たちに恵まれ、充実した学生生活を送っています。また、連合大学院という利点によって、学校教育学を学ぶさまざまな立場の方との情報交換もでき、研究の視野も広がりました。これからも研究、教育の道をまい進したいと考えています。

諸課題を解決し教育現場に還元



連合学校教育学研究科長
山下伸典

連合研究科では、教育現場が抱えている諸課題を研究対象として、それらの原因を解明し、解決に向けた具体的な方略とその効果・評価を提示しています。今日的な課題のみならず、将来起こりうるであろう問題を予測し、それらの対応、解決方法も考察しなければなりません。つまり、科学的かつ合理的な実践、考察により、教育実践学の構築に寄与することを期待しています。

Master course

新たなステップへの有意義な時間



平成13年度修士課程
学校教育専攻
教育経営コース入学
立川恵理

大学院では今までとは違う「時間」を過ごしています。納得するまで何度も論文を読み直したり、時が経つのも忘れてお互いの意見をぶつけ合ったり。苦しい時もありますが、充実した「時間」を過ごしています。大学院に入学し、学生時代を思い出すようになりました。忘れかけていた熱い気持ちもよみがえり、大いに学ぼうという意欲にかき立てられています。

教育実践学のさらなる発展を



副学長・大学院(修士)担当
濱名外喜男

修士課程の院生の中でも、特に現職教員の方に次の3点を期待しています。まず第1は、教育現場での経験を踏まえた課題に取り組む。次に、その課題を検討することが教育実践上でどのような意義を持つのかを理論的に示す。そして最後に、自分の研究を通して得た回答を他者に伝え、共有の知的財産とする。こうした作業の積み重ねにより、教育実践は確実に発展するはずです。

Graduate Students'
&
Instructors'
Messages

時代が求める教員の養成を

（実習重視にきめ細かなカリキュラム）

ズームアップ2

学校教育学部紹介



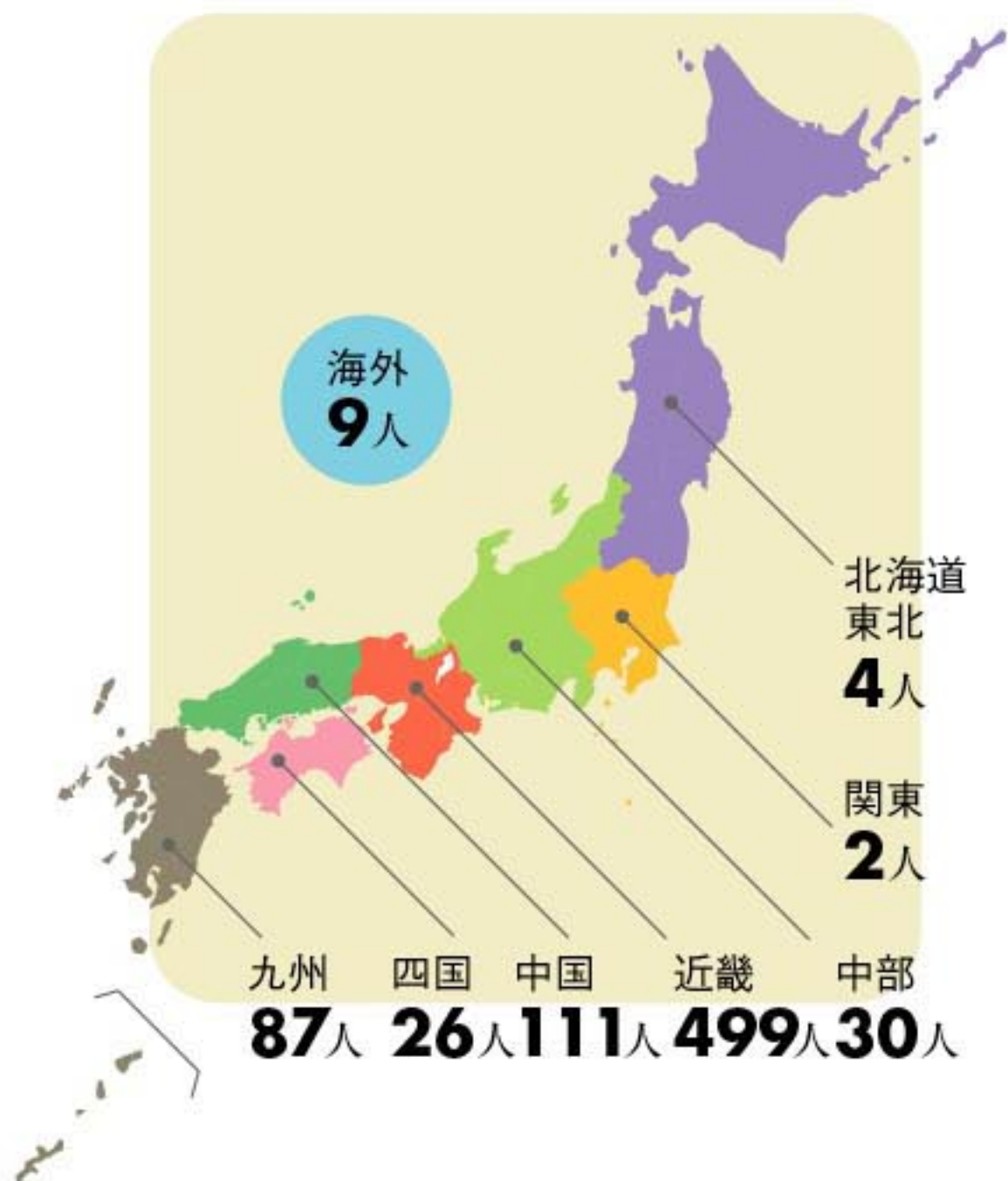
学校教育学部は、豊かな人間性に支えられ、初等教育の全教科・領域において実践的な指導能力を備えた教員の育成をめざしています。

1年次から実地教育（教育実習）を導入。教員としての総合的な能力に加え、特定分野についての専門性を高められるようカリキュラムを組んでいます。また、自学自習によつ

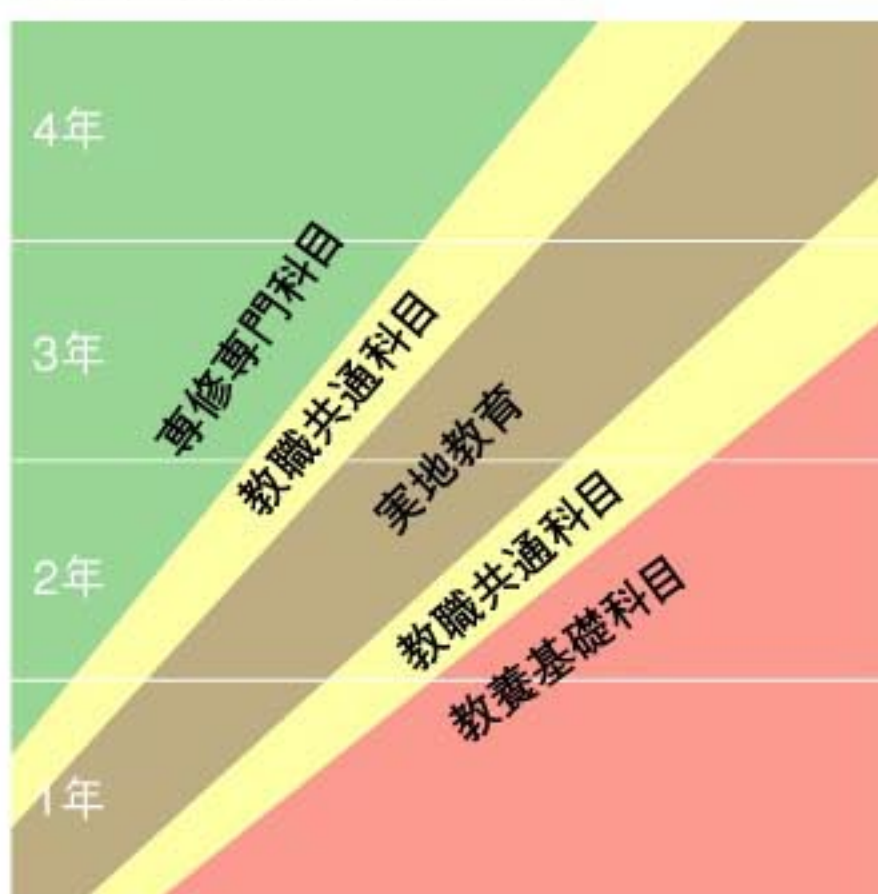
て音楽、美術、体育、語学の実技能力を身に付けられるシステムも整えています。

学部生たちは、現職教員である大学院生たちとの日々の交流を通じ、院生の教員経験に触れる機会が多いのも特徴です。

◎出身別学部生数 平成13年10月1日現在



◎教育課程の概念図



◎学校教育学部専修・コース一覧

学校教育学部
学校教育専修
学校教育系コース
幼年教育系コース
教育臨床系コース
教科・領域教育専修
言語系コース
社会系コース
自然系コース
芸術系コース
生活・健康系コース
総合学習系コース

初等教育教員養成課程



Zoom Up 2

Faculty of School Education

就職状況に見る学校教育学部の成果

◎就職状況 各年9月30日調査

(単位:人)

卒業年月	平成10年3月	平成11年3月	平成12年3月	平成13年3月
教員	84 43.8%	91 44.0%	100 50.5%	113 57.1%
小学校	16	12	23	20
中学校	3	1	1	1
高等学校	1	1	1	0
幼稚園	11	9	8	14
養護学校	1	0	0	0
期限付など	52	68	67	78
教員以外への就職	54 28.1%	64 30.9%	47 23.7%	35 17.7%
大学院進学	17 8.8%	10 4.8%	19 9.6%	27 13.6%
その他	37 19.3%	42 20.3%	32 16.2%	23 11.6%
合計	192 100%	207 100%	198 100%	198 100%

兵庫教育大学では、一人でも多くの学生を教員として教育現場に送り出すことを使命に、就職支援体制の強化を図ってきました。平成12年3月卒業者については教員就職率が全国1位になるなど、初等教育教員養成課程を置く大学の中では全国のトップクラスに位置します。ここ数年、厳しい就職状況が続いていますが、さらなる好結果が残せるよう努めていきます。



Instructor

Enrolled Student

学校教員を養成することが目的の大学ですから、学部生に期待するものと言えば、4年間の授業を通して一人前の教員に成長し、教育現場に巣立ってほしいということに尽きます。

学生の皆さんは自分が思い描く「先生」の理想像と高い志を持ち、学校教育のさまざまな課題に適切に対応できる柔軟性と包容力、実践力のある教員となるべく、日々研鑽を積んでほしいと思います。



副学長・学部担当
佐藤 光

学部生に期待するもの

初めての一人暮らし、初めて見る景色、運動の苦手な私が生健体育コースで教師をめざしている…。入学当初、とんでもない所へ来てしまったと思いました。

しかし、今では友達もたくさんでき、部活も楽しい。実地教育を通じて改めて「教師とは何か」を考えさせられました。在学中に、自分にとってプラスになるものならば何でも身に付けていきたいです。



平成13年度
生活・健康系コース入学
飯尾有紀子

明日の教壇を夢見て

Schoolmaster

Message

Graduate

中吉川小学校では3人の兵庫教育大学の卒業生が教壇に立っています。そのうちの一人が、村田裕章教諭です。彼の算数科研究授業の教材「ときはなて23の光(あまりのあるわり算)」では、若い人の豊かな発想に驚かされました。今、責務の重大さを認識し、新しい時代感覚を持ち合わせた教員が求められています。彼は、温かだしなやかな心を持ったスケールの大きな教員になれるよう頑張っています。



吉川町立
中吉川小学校長
藤岡勝義

教壇に立つ兵教大卒業生

教師になって2年目。現在、吉川町立中吉川小学校で教鞭を執っています。日頃、児童と接してつくづく思うのは、4年間の実地教育での経験が大いに役立っているということです。

授業や学級事務をこなすには、頭と体をフルに使って実践する能力が必要です。大学で学んだ一つ一つのことが生きています。学生のみならず、日々の積み重ねを大切に頑張ってください。



平成11年度
学校教育専修卒業
村田裕章

学生時代の経験を生かして



兵庫教育大学は、広範囲に及ぶ専門諸科学の講座を設置していますが、さらなる教育研究の効果を高めるためにいくつかの附属施設を設置しています。

代表的なものが、すべての学生が利用できる学内共同教育研究施設、主に学部生の教育研究を支援する附属教育研究施設です。このほかに、児童・

学内外への教育研究支援

地域社会への貢献

生徒を教育し、教育実習の現場ともなる附属学校、約30万冊の蔵書を誇る附属図書館、学生の健康管理を担う保健管理センターなどがそろっています。これらの附属施設の多くは、学生以外に一般の方々も利用することができ、今後も、「開かれた大学」をめざし、地域住民へ提供する各種の教育サービスを充実させていきます。

ズームアップ3

附属施設紹介

〈山国地区〉

◎学校教育研究センター



学校教育の理論と実践の研究を推進し、各種研究プロジェクトを実施しています。また、地域社会や学校教育が抱える諸課題に対しての指導、支援を行っています。

〈嬉野台地区〉

◎附属図書館



教育実践資料を重点的に整備。電子図書館機能を備え、卒業生や修了生、地域住民への学習支援にも対応しています。

〈嬉野台地区〉

◎発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する臨床的、実践的教育の研究を推進。兵庫県心の教育総合センターとの連携事業を実施しています。また、教育相談も行っています。

〈山国地区〉

◎附属幼稚園



教育目標は「心身ともにたくましい子どもを育てる」。公開研究会や幼年研究会を開催しています。

〈山国地区〉

◎附属小学校



教育目標は「人間として生きぬく力を育てる」。毎年、研究発表会を開催しています。

〈嬉野台地区〉

◎情報処理センター



ネットワーク時代の教育に挑戦し、情報応用能力を身に付けた「明日の学校を担う」教員の養成を支援しています。

〈嬉野台地区〉

◎実技教育研究指導センター



初等教育教員に必要な音楽、美術、体育の実技能力および語学能力の向上を支援しています。また現職教員のための公開講座も開設しています。

〈山国地区〉

◎附属中学校



教育目標は「人生をたくましく豊かに生きぬくために考え 鍛え 行動する生徒を育てる」。定期的に教育研究発表会を開催しています。

Zoom Up 3

Campus Topics

キャンパス・トピックス

2001.7～12



平成13年度第1回 運営諮問会議を神戸で開催

9月20日(木)、新神戸オリエンタルホテルで「平成13年度第1回運営諮問会議」を開催しました。梶田毅一議長(京都ノートルダム女子大学長)の司会進行で、議題「兵庫教育大学の新たな発展に向けて」についての審議を繰り広げました。

まず、高倉翔委員(明海大学長)が「国立の教員養成系大学・学部のある在り方に関する懇談会」の検討状況を踏まえての意見を述べられました。続いて、竹内脩委員(大阪府教育委員会教育長)、武田政義委員(兵庫県教育長)、宮崎和夫委員(神戸親和女子大学文学部教授)、石古勲委員(元社町長)、佐藤榮一委員(大阪市立開平小学校長)、島田治委員(東洋大学常務理事)から今後の大学運営の基盤の強化となる幅広い意見、提言が数多く寄せられました。

11月

- 2日 ◎附属中学校創立20周年記念式典
- 8日～11日 ◎公開講座「絵画制作」(全4回)
- 17日～18日 ◎大学祭「嬉望祭」
- 20日 ◎フルブライト・メモリアル基金米国教育者来訪
- 28日 ◎平成14年度附属幼稚園入園応募者書類審査発表抽選会

12月

- 2日 ◎平成14年度大学院修士課程第2次募集入学者選抜試験

10月

- 30日・10月3日 ◎附属小学校「うれしのカーニバル」
- 1日 ◎創立記念日
- 6日～11月3日 ◎公開講座「ピアノを弾こう!」(全3回)
- 14日 ◎公開講座「現職教員の実技指導能力を向上させるための講座(英会話)」
- 21日 ◎附属幼稚園運動会
- 23日 ◎平成13年度県立星陵高校クリエイティブ21事業「大学体験」
- 24日 ◎ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会

9月

- 30日 ◎社町官公衛連絡会
- 8日～10月27日 ◎公開講座「陶芸入門」(全4回)
- 15日 ◎附属中学校創立20周年記念体育祭
- 20日 ◎平成13年度第1回運営諮問会議
- 26日 ◎前期末学部卒業・大学院(博士・修士)修了者学位記交付
- ◎論文提出による博士の学位記交付
- 28日～11月30日 ◎公開講座「理科実験・観察のカンドコ」(全6回)

8月

- 30日～8月4日 ◎公開講座「泳ぎの好きになる水泳教室」(全6回)
- 30日～8月22日 ◎平成13年度学校図書館司書教諭講習
- 31日～8月31日 ◎平成13年度兵庫県・神戸市教育職員免許法認定講習
- 3日 ◎大学説明会
- 6日～10日 ◎平成13年度附属学校における初任者研修等に係る宿泊研修
- 25日～26日 ◎平成14年度大学院修士課程入学者選抜試験
- 27日～31日 ◎平成13年度新産業技術等指導者養成講習

7月

- 10日 ◎大学進学説明会(三木北高校)
- 11日 ◎講演会「兵庫県の情報教育—情報教育でこのような教師を求めている—」
- 13日 ◎大学・高校教育研究懇談会
- 25日 ◎講演会「ジャコビアン予想と関連して」
- 26日 ◎実地教育・実地研究等に関する連絡協議会
- 29日 ◎附属小学校で「ものづくり」による科学・技術の体験学習

飛べ! 模型飛行機 小学生向けの体験学習会

7月29日(日)、附属小学校で地域の小学生を対象に「ものづくり」による科学・技術の体験学習」を中央公民館との共催で開きました。この学習会は、模型飛行機などの製作を通じて、子どもたちの科学・技術に対する興味を高めてもらうと企画しました。



20回目を迎えた大学祭に 地域住民も多数参加

毎年恒例の大学祭「嬉望祭」を11月17日(土)と18日(日)の両日、開催しました。20回目を迎えた今年のテーマは「大衆食堂」。学内外のすべての人々が気軽に出入りできるキャンパスをめざし、交流というものを今一度見つめ直そうという意味を込めて、このテーマに決められました。

趣向を凝らした盛りだくさんのイベントに、学生からも地域住民からも笑顔がこぼれ、大盛況のうちに幕を閉じました。



兵庫教育大学からのお知らせ

☎=問い合わせ先

◎平成14年度学生等募集

☆学校教育学部

◎前・後期日程等出願期間

平成14年1月28日(月)～2月6日(水)

◎前期日程・帰国子女特別選抜試験日

平成14年2月25日(月)～26日(火)

◎私費外国人留学生特別選抜試験日

平成14年2月27日(水)

◎後期日程試験日

平成14年3月12日(火)

☆連合学校教育学研究科(大学院博士課程)

◎出願期間

平成13年12月25日(火)～平成14年1月8日(火)

◎試験日

平成14年2月17日(日)

※上記のほか、科目等履修生(学部、大学院修士課程、大学院博士課程)、研究生、連合学校教育学研究科研究生の募集もしています。

☎入学主幹室 ☎0795・44・2067

☆附属小学校

◎定員

108人(うち約60人程度は附属幼稚園の修了者)

◎出願期間

平成14年1月7日(月)～11日(金)

◎書類審査発表および抽選会

平成14年1月21日(月)

☎附属小学校事務室 ☎0795・40・2218

☆附属中学校

◎定員

120人(うち約90人程度は附属小学校の卒業生)

◎出願期間

平成14年1月15日(火)～18日(金)

◎書類審査発表および抽選会

平成14年1月25日(金)

☎附属中学校事務室 ☎0795・40・2224

◎公開講座

小学生、現職教員、一般市民を対象に来年度も公開講座を実施する予定です。開設講座は平成14年4月上旬に公表の予定です。

☎教務課専門職員(研究推進担当) ☎0795・44・2053

◎附属小学校研究発表会

研究主題「学びをひろくカリキュラムの創造—子どもの学びの文脈に培う学習指導を求めて—」

1日目…授業公開、分科会(総合的な学習)

2日目…授業公開、分科会(各教科・道徳)、講演(講師:市川伸一東京大学教授)

◎場所

附属小学校

◎開催日

平成14年1月31日(木)～2月1日(金)

☎附属小学校 ☎0795・40・2216 ☎0795・40・2219

<http://www.school.hyogo-u.ac.jp/element/index.htm>

◎演奏会

☆芸術系音楽分野定期演奏会

学生と教官が演奏します(入場無料)。

◎場所

兵庫教育大学講堂

◎開催日

平成14年1月26日(土)

☆学部卒業演奏会

音楽分野の学生が、各々の専門の楽器で4年間の研究成果を披露します(入場無料)。

◎場所

兵庫教育大学講堂

◎開催日

平成14年2月9日(土)

☎芸術棟事務室 ☎0795・44・2249または森川研究室 ☎0795・44・2263

◎第3回兵庫教育大学美術展

卒業制作と学部生、大学院生、教員による制作展です(入場無料)。

◎場所

西宮市立市民ギャラリー

◎開催日

平成14年3月12日(火)～17日(日)

☎芸術棟事務室 ☎0795・44・2249または笹山研究室 ☎0795・44・2242

◎附属図書館の利用について

一般の方にも本を貸し出していますのでどうぞご利用ください。初めて本を借りる際には、運転免許証や保険証など住所を確認できるものが必要です。

◎開館時間

平日9:00～22:00(大学休業期は9:00～17:00)、

土曜9:00～17:00(大学休業期は閉館)

休館日:日曜、国民の祝日、年末年始、月末休館日、休業期の土曜

※あなたの学校の教育実践資料をご寄贈ください

●公開研究発表会の報告書

●研究紀要類

●教育関係グループ研究会の配布資料

●授業実践記録等

◎あて先

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

附属図書館情報サービス係

☎☎0795・44・2062

◎体育施設の利用について

大学の体育施設を授業やクラブ活動に支障のない範囲で開放しています(有料)。利用できるのは体育館、武道場、陸上競技場、野球場、ソフトボール場、ハンドボール場、和弓場、洋弓場、テニスコート、バレーボールコート、バスケットボールコート、プールなど。

☎会計課管財係

☎0795・44・2022



Hyogo University of Teacher Education

編集後記

少子化による学校教育への影響、社会病理としてのさまざまな教育問題が深刻化する今、教育大学の社会的役割が強く問われています。私たちは「このような時代だからこそ、地域の皆さんと手を取り合い、今日の教育課題に積極的に取り組んでいきたい」との決意で、広報誌を創刊しました。今後とも『教育子午線』が地域とのつながりを育み、より良い教育実践に役立つように努力を重ねていきたいと思えます。

(広報担当学長補佐 松浦正史、宮本健市郎、藤岡秀英)

教育子午線について

兵庫教育大学では、学内の活動を一般の方に知っていただくこと、広報誌『教育子午線』を創刊しました(6月、12月の年2回発行)。学長発案の誌名は、日本の標準時を決める東経135度の子午線が大学のそばを通過していることから、兵庫教育大学も日本の教育研究機関の指標をめざすとの意味を込めています。

◎あなたの声をお聞かせください

『教育子午線』では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりをめざしています。ご意見、ご感想、ご希望(取り上げてほしい教育テーマ)などがございましたら、どしどしお寄せください。

●あて先:庶務課企画法規係(住所は下記参照) ☎0795・44・2011 ☎0795・44・2009
E-mail office-2011@office.hyogo-u.ac.jp

Kyoiku-Shigosen

教育子午線

創刊号 2001年12月発行

発行/兵庫教育大学 〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

URL <http://www.hyogo-u.ac.jp>

編集協力/(株)神戸新聞マーケティングセンター